



2022年8月10日

大崎町 SDGs 推進協議会と連携した 大崎町住民の購買行動調査研究プロジェクトの実施について

2022年8月16日(火)より、一般社団法人大崎町 SDGs 推進協議会と連携し、鹿児島県大崎町内のスーパーマーケット、コンビニ等の販売店にて、宮崎大学の学生たちが購買行動についての住民アンケート調査を実施することになりました。

現在、日本の家庭ごみにおいてプラスチック製の容器包装の容積は約5割を占めます(*1)。そんななか、令和4年4月からはプラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律が施行され、環境配慮型の製品やパッケージの導入に取り組む企業が増加するとともに、そうした企業に対する消費者の支持も高まりつつあります。

この度、14回のリサイクル率日本一を達成し27品目におよぶ徹底したごみの分別を日常的に取り組んでいる大崎町民を対象にした購買行動の調査を、本学の土屋有研究室が実施いたします。当調査を通じて、ごみの分別に取り組むことによる環境意識の変化や、商品包装の簡易さ等による購買行動の変化に関する分析を行います。

調査では、大崎町のスーパーマーケットやコンビニ等で対面アンケートやインタビューを実施予定です。調査結果は、一般社団法人大崎町 SDGs 推進協議会から本年秋以降の発表を予定しております。本調査により、資源循環型社会の先進地域として、大崎町が未来の消費のあり方を構築するロールモデルとなり、大崎町はもちろん他地域や製造・販売・流通の現場におけるサーキュラーエコノミーの実現に寄与することを目指します。

(*1)環境省発表の令和3年度時点

<調査研究>

「サーキュラーヴィレッジ・大崎町」購買行動調査研究プロジェクト

調査主体:サーキュラーヴィレッジラボ(一般社団法人大崎町 SDGs 推進協議会)／宮崎大学 土屋有研究室

①発信元

企画総務部総務広報課広報係(後田・廣谷)

TEL:0985-58-7114

②調査に係る問い合わせ先

一般社団法人大崎町 SDGs 推進協議会 広報(中垣・立花)

TEL:099-478-1487

e-mail: pr@osakini.org

<調査概要>

■日時

2022年8月16日(火)～21日(日)

■調査内容

大崎町内のスーパーマーケットやコンビニ等の販売店にて、消費者への対面アンケートやインタビュー調査を実施し、徹底してごみの分別に取り組む大崎町民の購買行動や意識を調査。

■調査対象予定数

700人

■調査対象予定店舗

大崎町内のスーパー、コンビニ1店舗ずつ

<調査スケジュール>

8月・9月:調査結果分析

10月:分析

11月:報告書作成

12月:調査結果報告